

新春特別対談

多様性を前向きな力に変えて



橘・フクシマ・咲江氏

G&S Global Advisors 代表取締役社長
経済同友会 元副代表幹事

伊藤雅俊氏

日本在外企業協会 会長
味の素株式会社 会長

明けましておめでとうございます。
2018年を素晴らしい年にしたい、そんな願いを込めて
新春対談をお届けします。

グローバルな経済、ローカルな政治

伊藤 私たちを取り巻く環境はスピードを加速しながら大きく変化しています。グローバル化や情報化が進むことに伴い、様々な社会課題が顕在化しています。そこで、こうした昨今の動きに照らし合わせて本日の対談を進めていきたいと思っています。

始めにグローバル化の問題についてです。グローバル化は国の壁を越えながら経済成長をリードしてきたわけですが、一方で、国や人々の間の格差を広げ、自国主義や保護主義的な動き、イスラム過激派によるテロ行為の拡散、移民や若年失業者の増加など、政治的・社会的リスクの原因に

なっているようにも思えます。

フクシマさんは、最近のこうした動きをどのように捉えていますか。

フクシマ 世界を政治と経済に分けると、経済に国境はありませんが、政治には国境があると改めて感じています。このギャップから様々なジレンマが生じているように見えます。政治と経済のずれが一番顕著に出たのが2017年だったのではないのでしょうか。トランプ大統領のアメリカはその典型だと思います。「アメリカ・ファースト」、国家とか国境が色濃く出ています。これに対して経済はというと、ニューヨークの金融業界やシリコンバレーのネット企業はグローバルにつながっており、その流れを止めることはできません。このずれが政治にも経済にも大きな影響を与えている